

【22_281技術 / 思考系メルマガ】シンプルにやるのは『怖い』？（後編）

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

昨日のメルマガで、なぜ人は『シンプルにトレードする』のが難しいのかについて思考的側面から考察してみました。

まだ読んでない方は、こちらのアーカイブからもご覧いただけますので、チェックしてみてくださいね。

▼先日のメルマガ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_mail_2022/221007rF6m8.pdf

今日は、昨日に引き続き『シンプルなトレード』がなかなかできない技術的な側面の問題とその乗り越え方について考えてみたいと思います。

┌
└─┬─
■ 『シンプル化』とは、戦場を選ぶ事である

これが、僕のトレードスタイル(型)を固定するうえで大事にしているポイントのひとつでもあるのですが。

長期環境に基づく『目線』の固定も、あくまで自分の引くラインやMAに対して

僕のように『邪魔な存在』と認識して、空いている空間を探す手段として見るか

逆にライン・MAに対するプライスアクションを紐づけて反転根拠とするのかなど

その人の裁量判断の基準次第で見解が変わってくるので、この辺は本当に個々の型次第となります。

『目線』と並んで同じくらい重要なのは、『セットアップ＝エントリーのトリガー』を、
いかにシンプル化するかです。

ですが、この点を『どうシンプルにまとめるか』を考えるのが、多くの人にとって難しいようです。

なぜなら、一度決めてしまうと、決めた型にはまらない動きは敢えて捨てて、戦う場面を限定しなくてはなりません。

すなわち、『待ち』が生じてそれに耐えられなくなるのです。

実際、僕自身もエントリーのセットアップは明確に絞っており、それ以外の動きは追わないことを徹底しています。

これは何度も同じフレーズで言い続けている事ですが、トレードにおいて安定的な運用を行う秘訣は

どこまで言っても『一貫性』と、それに伴う精度に依存します。

特に初学者の人は、「あらゆる動きを認識し、対応しなければ勝てない」と思い込んでいる節があります。

それは単に目先の値動きに振り回されているだけで、調子よく目線と相場の流れが噛み合っているときは一時的に勝てるのですが

ひとたび調子を崩すと、エントリーすればするほど負けるという絶望的なループに嵌ることになります。

実際、僕の周りの人も含め、安定した利回りを出しながら上手にトレードしている人は

自分の『目線』決めから『セットアップ』に至るまで、常にロジックが一貫していて

個々のトレードの根拠をクドクド説明する必要のないシンプルさを兼ね備えています。

何度も話を聞いているうちに、「ああ、この人は今この場所でトレードしているだろうなあ」と

連想できてしまうレベルで再現性が高いです。

もし運よくそんなトレーダーを身近で見つけたら、是非その『考え方』を模倣してみると良いと思います。

(僕は「それはクロさんでしょう！」とみんなに言ってもらえるように精進します 笑)

トレードを『シンプル化』するというのは、どこでも仕掛けられそうなエントリー条件を

『敢えて限定』することによって一貫性を保ち、常に同じサイコロを振るイメージで筋の通ったトレードをやり続ける事なのです。

これは、慣れるまでは我慢が伴うし、そのトレードを実戦レベルで使えるようになるまでには

膨大な検証と、時間をかけたフォワードテストが必要になります。

その過程で、オーバートレードで利回りがプラスにならなかつたり、逆にチャンスが無さ過ぎる為にトレードが出来なかつたり

改良してはまたテストして、、、という地道な作業を強いられることになります。

ですが、そこをしっかりとやり切った人には、相場で稼ぐ力を授けられ、しかもその力は自分が引退しない限り

ずっと『稼ぐための手段』として、自分の中にだけ存在する財産(≡聖杯)となるわけです。

是非、1日でもはやく皆さんがそれを手に出来るように祈っています。